

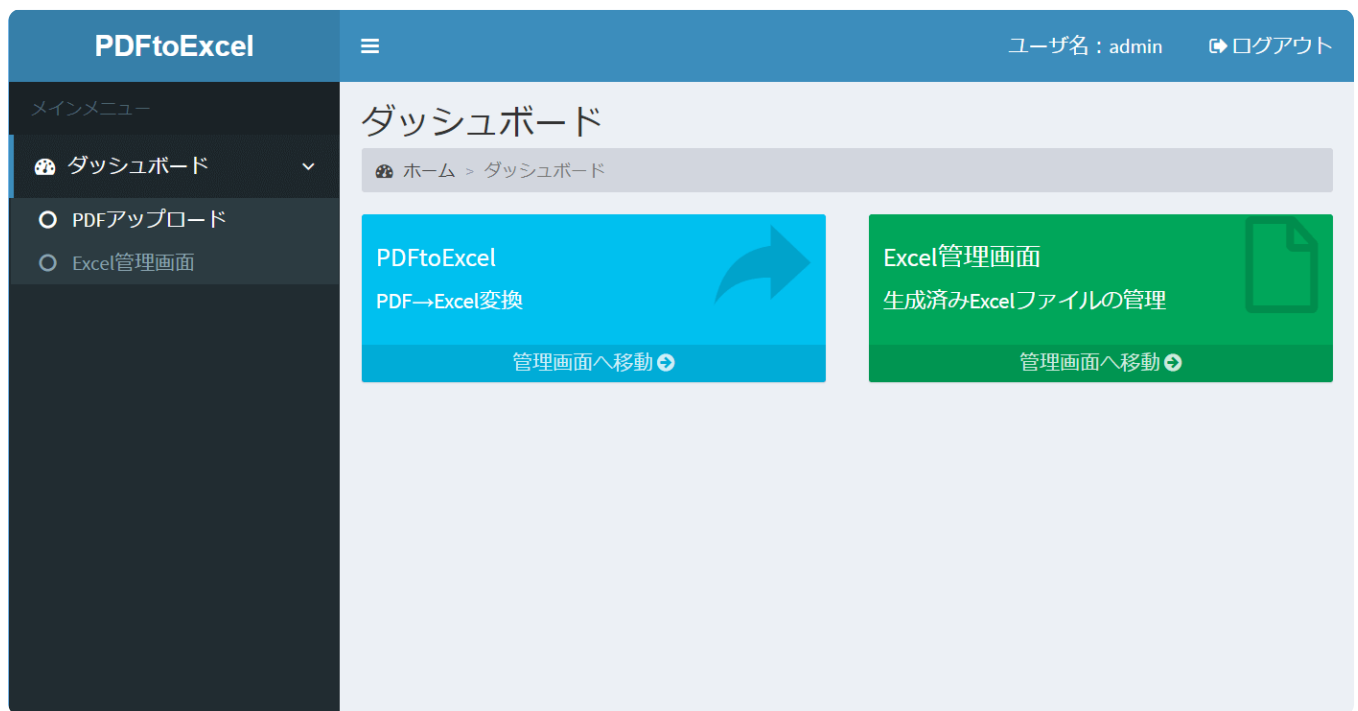
かっこいい管理画面デザインの適用(後編)

前のパートでは、AdminLTEのテンプレートをDjangoアプリケーションに適用する方法について解説しました。

本パートでは、AdminLTEのテンプレート内容を今回開発するWEBアプリ用にカスタマイズしていきます。

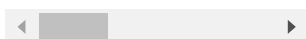
本パートの目標物

最終的に完成するTOP画面のデザイン



目標物を作成するまでの流れ

1. AdminLTEテンプレ
2. Django環境の基本
3. urls.pyの設定
4. views.pyの設定
5. TOP画面テンプレ
6. AdminLTEのテンプレ
7. AdminLTEのテンプレ



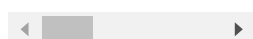
それでは、AdminLTEのテンプレート内容を今回開発するWEBアプリ用にカスタマイズしていきます。

7. AdminLTEのテンプレートのカスタマイズ

テンプレートファイルは、base.html(共通テンプレート) と、top.html (TOP画面用テンプレート) の2階層とします。

```
python
```

```
1  ../tutorial
2      |—— t
3      |  L
4      |
5      |
6
```

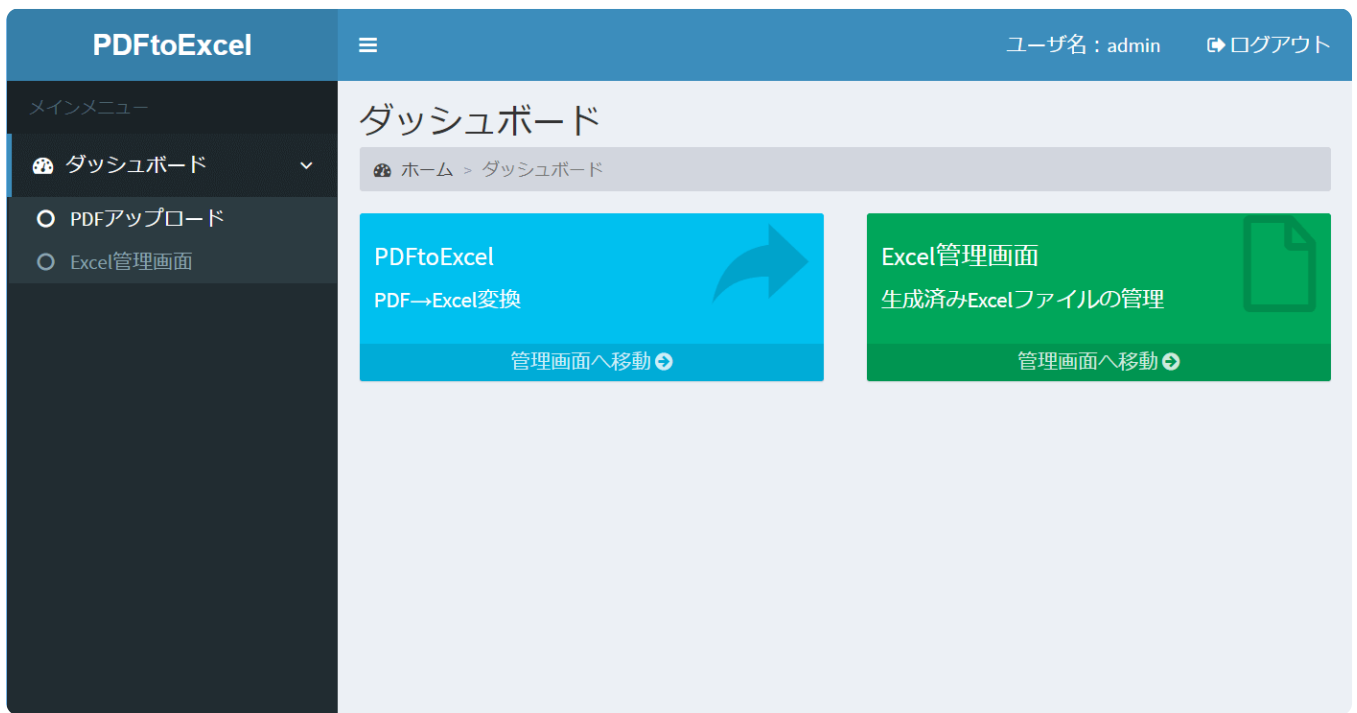


いきなり2階層で作り始めると混乱してしまうため、まずは既に存在しているtop.htmlの内容を変更して、以下のような画面デザインに変更していきます。

※変更前



※変更後



まずは、top.htmlから不要なコードをそぎ落としていきます。

7-1. サイドメニューのカスタマイズ

まず、top.html内から以下のコードを探して、直後の<div class="user-panel">~</form>までをすべて削除します。

html

```
1 <section class=
```

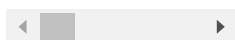


※変更前

html

```
1 <aside class=
2 <!-- sideb
3 <section c
4
5 <!-- ここ
6 <!-- Sid
7 <div cla
8 <div c
9 <img
10 </div>
```

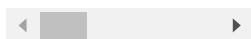
```
11      <div c
12      <p>A
13      <a h
14    </div>
15  </div>
16  <!-- sea
17  <form ac
18    <div c
19      <inp
20      <spa
21
22
23
24    </div>
25  </form>
26  <!-- /. s
27  <!-- こ
28  <!-- sideb
29  <ul class=
```



※変更後

html

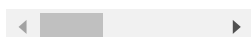
```
1  <section class=
2
3  <!-- sidebar me
4  <ul class="side
```



つづいて、top.html内から以下のコードを探して直後に記載してある**ulタグ**で囲まれているコードを一旦削除し、必要なツリーメニューのコードに差し替えます。

html

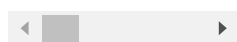
```
1  <ul class="side
```



※変更前

html

```
1  <aside class="|
2      <section c
3          <ul cl
4
5      ~ 【ulタタ
6
7          </ul>
8      </section>
9  <!-- /.sidebar
10 </aside>
```



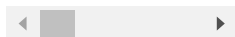
※変更後

html

```
1  <aside class="|
2      <section c
3          <ul cl
4
5              <!--
6              <|
7              <|
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18          </
19          <!--
20
21      </ul>
22  </section>
```

```
23      <!-- /.sid
```

```
24  </aside>
```



メニューの**ダッシュボード**を展開すると、以下の2つのリンクメニューが表示されるようにしています。

PDFアップロード

Excel 管理画面

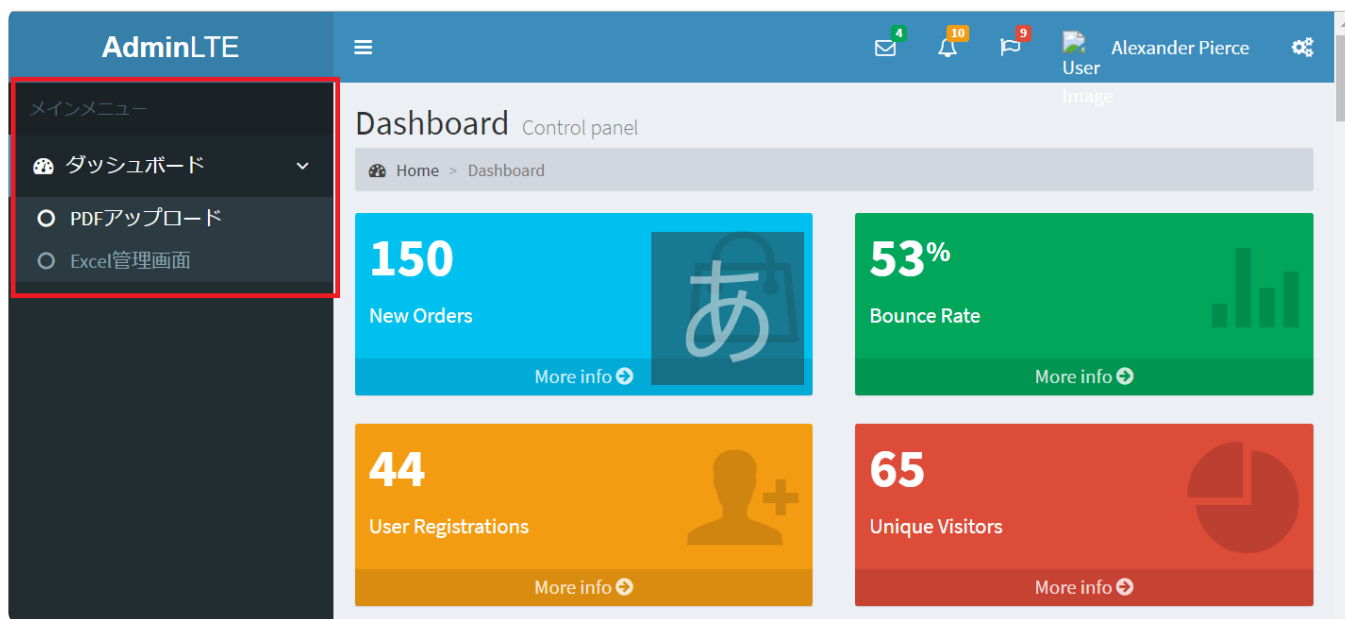
また、現時点では実際にはリンク先画面が存在しないため、aタグの**href**要素は以下のように空にしておきます。

```
html
```

```
1  <a href=""
```

この状態で、top.html画面を更新してみましょう。

画面左側のツリーが下記画像の赤枠のように変更されます。



7-2. 上部メニュー部分のカスタマイズ

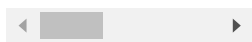
次に画面上のメニュー部分を変更していきます。

まずは、class="logo-lg"となっている箇所を探してロゴ表示部分を**AdminLTE** → **PDFtoExcel**に変更します。

※変更前

html

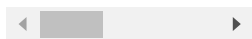
```
1 <span class="lo
```



※変更後

html

```
1 <span class="lo
```



つづいて上部メニュー右側に**ユーザ名**と**ログアウトボタン**を表示するように変更します。
以下クラスが定義されている箇所を探します。

html

```
1 class="nav navb
```



上記コードの直後の行からulタグ終了の直前までのコードを一旦ごっそり削除しましょう。

※変更前

html

```
1 <div class="na
```

```
2 <ul class=
```

```
3
```

```
4 <!-- =
```

```
5 <!-- M
```

```
6 <li cl
```

```
7 <a
```

```
8
```

```
9
```

```
10 </
```

```
11 <u
```

```
12
```

```
13
```

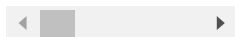
```
14
```

```
15
```

```

17
18
19
20
21
22         </
23     </div>
24 </nav>
</header>

```



削除した部分にユーザ名とログアウトボタンを定義するコードを以下の通り差し込みます。

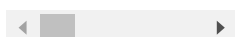
※変更後

html

```

1  <div class="na
2      <ul class=
3
4      <!-- =
5      <li>
6          <a
7      </li>
8      <li>
9          <a
10
11      </li>
12      <!-- =
13  </ul>
14 </div>
15 </nav>
16 </header>

```



実際にログオンユーザ名を表示する部分はあとの章で実装していきますので、この時点では一旦「ユーザ名：」という文字列だけを定義しておきます。

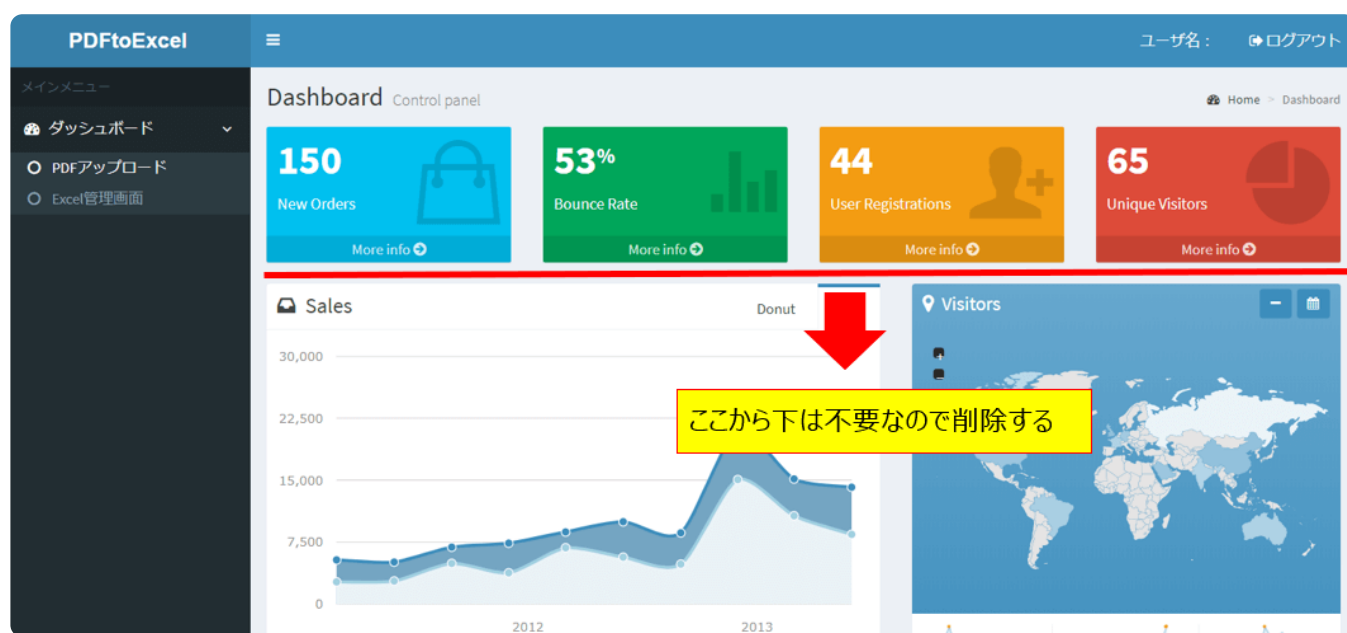
また、ログアウトボタン機能も現時点では未実装のため、一旦リンク設定は空「href=""」にしておきます。

以上の変更が完了したら再度top.htmlを表示してみましょう。
以下のようなメニューデザインに変更されます。



7-3. 画面中央のダッシュボードより下の不要な情報を削除

つづいて、下記画像の通り画面中央下の不要な情報を削除します。



class="content-wrapper"という箇所を探して、以下の通り不要なコードを削除します。

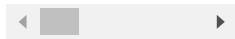
html

```
1 <div class="co
2
3 <!-- =====
4 <!-- Conte
5 <section c
6
7 ~
8
9 </div>
10 <!-- /.row (ma
11 </section>
```

```

12 <!-- /.content
13 <!-- =====
14
15 </div>
16 <!-- /.content
17 <footer class=

```



下記の変更前の状態（不要なコードを削除した状態）になったら、content-wrapperクラスを指定してあるdiv内にダッシュボードの定義を差し込みます。

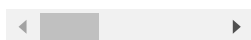
※変更前

html

```

1 <!-- Content Wr
2 <div class="con
3 </div>
4 <!-- /.content-
5 <footer class="

```



※変更後

html

```

1 <!-- Content W
2 <div class="co
3
4 <!-- =====
5 <!-- Conte
6 <section c
7 <h1>ダ
8 <ol cl
9 <l
10 <l
11 </ol>
12 </section>
13 <!-- Main
14 <section c

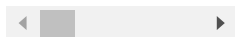
```

```
15      <!-- S
16
17      <div c
18          <d
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30          </
31      <!--
32      <d
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44          </
45      </div>
46      <!-- /
47      <!-- M
48      <div c
49          <!--
50          <s
51          <!--
52          <!--
53          <!--
```

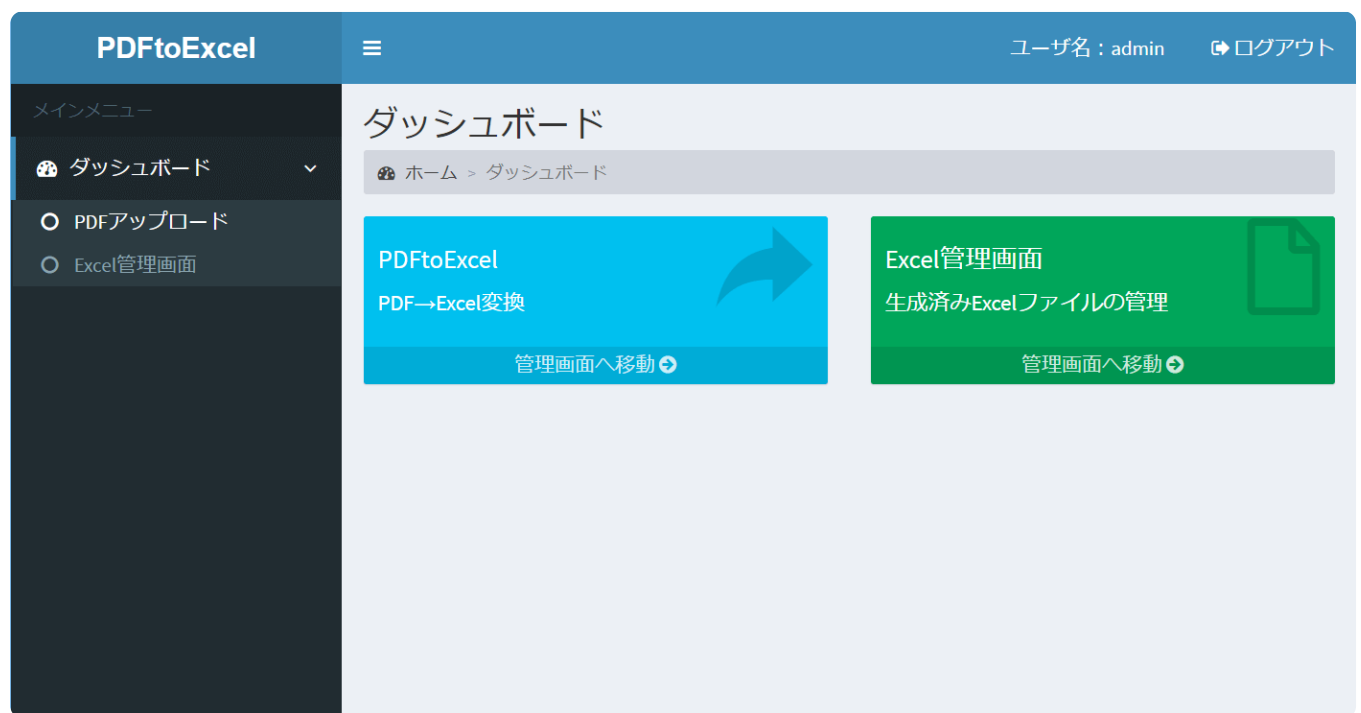
```

54         </div>
55         <!-- /
56     </section>
57     <!-- /.con
58     <!-- =====
59
60 </div>
61 <!-- /.content
<footer class=

```



再度**top.html画面**を更新して表示してみましょう。
 以下のようなTOP画面が完成します。



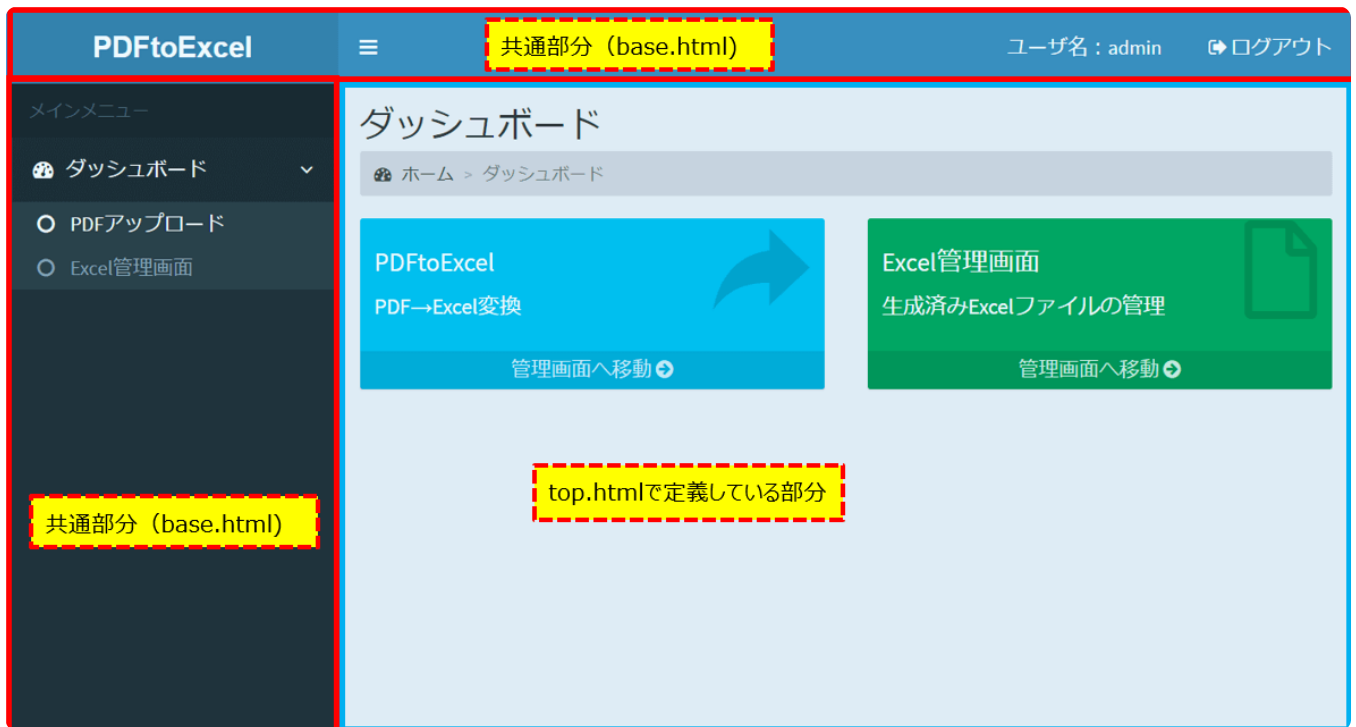
基本的にはAdminLTEテンプレートファイルのHTMLコードをそのまま流用して、文字列や画像部分をカスタマイズしているだけです。適宜好きなデザインにアレンジしていただいで問題ありません。

7-4. base.htmlとtop.htmlに分割

最後に、先ほどカスタマイズしたtop.htmlから全画面に共通する部分をbase.html側に切り出します。

共通部分(base.html)とtop画面部分(top.html)は下図の通りです。

※赤枠がbase.html、青枠がtop.htmlで定義している箇所



まず最初に空のbase.htmlファイルを作成します。

top.htmlで定義したコードのうち画面上共通する部分をbase.html側に移動させます。

まずは、top.htmlで定義したコードをすべてコピーして、base.htmlにはりつけてください。

```
tutorial
├── templates
│   └── base.html
```

次に、base.htmlに{% block content %}、{% endblock %}タグを以下の場所に追加します。
※block contentタグで囲んだ部分に子側の定義（top.html）が差し込まれる形になります。

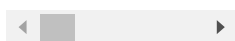
```
html

1  {% load static
2  <!DOCTYPE html>
3  <html>
4  <head>
5
6  ～～省略～～
7
8  <ul class="tree
9      <li class=
10     <li><a href
```

```

11 </ul>
12 </li>
13 </ul>
14 </section>
15 <!-- /. sidebar
16 </aside>
17
18 <!-- =====
19 {% block conte
20 <!-- =====
21
22 <!-- content -
23
24 <!-- =====
25 {% endblock %}
26 <!-- =====
27
28 <footer class=
29 <div class="pu
30
31     ~~省略~~
32
33 </body>
34 </html>

```



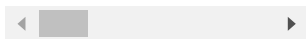
続いて、一旦top.htmlの中身をすべて削除します。

その後、base.htmlの{% block content %}～{% endblock %}の間にあるhtmlコードを切り取り、top.html側に張り付けます。

```

tutorial
├── tutorial
│   ├── base.htm
│   └── top.html

```



top.html

```
html
```

```
1  <!-- Content W
2  <div class="co
3      <!-- Conte
4      <section c
5          <h1>ダ
6          <ol cl
7              <l
8              <l
9          </ol>
10         </section>
11     <!-- Main
12     <section c
13         <!-- S
14         <div c
15             <d
16
17
18
19             </
20         <!--
21         <d
22
23
24
25
26
27
```

28

29

30 </

</div>

31

<!-- /

32

<!-- M

33

<div c

<!

34

<s

35

<!

<!

36

<!

37

</div>

<!-- /

38

</section>

39

<!-- /. con

40 </div>

<!-- /. content

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

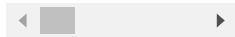
53

54

55

56

57



続いてtop.htmlの冒頭と末尾に以下のコードを追加します。

html

```
1  <!--top.htmlの
2
3  <!-- ===== ここ
4  {% extends './
5  {% block conte
6  <!-- ===== ここ
7
8  ~~~省略~~~
9
10 <!-- ===== ここ
11 {% endblock co
12 <!-- ===== ここ
13
14 <!--top.htmlの
```



冒頭で共通テンプレート（base.html）をインクルードして、top.htmlのコンテンツ部分をblock contentタグで囲ってあげます。

こうすることで、base.html側の以下のblockタグ内にtop.html側のblock contentタグで囲った部分が差し込まれます。

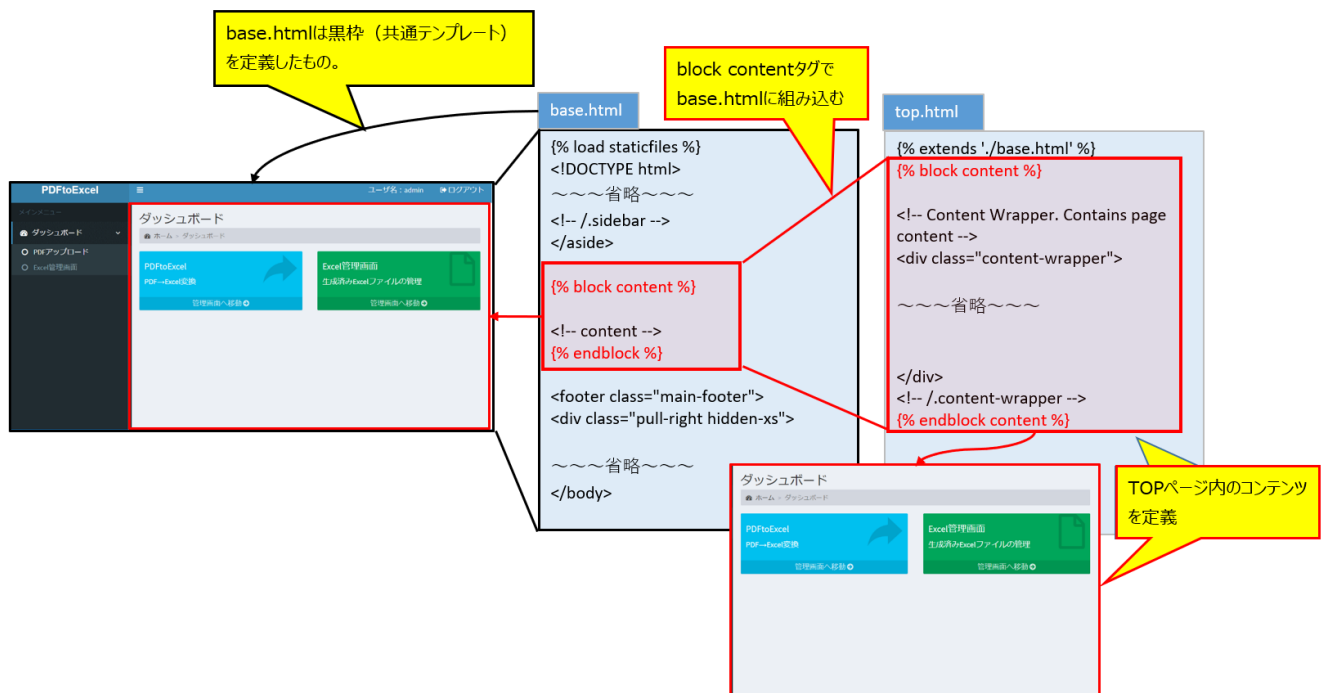
html

```
1  {% block conten
2  <!-- content --
3  {% endblock %}
```



以上でテンプレートのカスタマイズは完了です。

今回のようにhtmlコードが長いと、どこで何を分割しているのかがわかりづらくなります。全体のイメージ図を作成しましたので参考にしてみてください。



最終的に出来上がったbase.htmlとtop.htmlのコードは以下ようになります。

base.html

html

```

1      {% load stati
2      <!DOCTYPE htm
3      <html>
4          <head>
5              <meta
6              <meta
7              <titl
8              <!--
9              <meta
10             <!--
11             <link
12             <!--
13             <link
14             <!--
15             <link
16             <!--
17             <link
18             <!--
19             f

```

```
20      <link
21      <!-- |
22      <link
23      <!--
24      <link
25      <!--
26      <link
27      <!--
28      <link
29      <!--
30      <link
31      <!--
32      <!-- '
33      <!--[
34      <
35      <
36      <
37      <
38      <link
39  </head>
40  <body cla
41      <div
42      <
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
```

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

<

72

<

73

<

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

<

94

{

95

<

96

{

98

<

99

100

101

102

103

<

104

<

105

<

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136
137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

<

<

<

<

<!--

<!--

<scr i

<!--

<scr i

<!--

<scr i

\$. wid

</scr

<!--

<scr i

<!-- |

<scr i

<scr i

<!-- .

<scr i

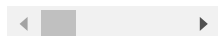
<!--

<scr i

<scr i

<!--

```
291         <scri
292         <!--
293         <scri
294         <scri
295         <!--
296         <scri
297         <!--
298         <scri
299         <!--
300         <scri
301         <!--
302         <scri
303         <!--
304         <scri
305         <!--
306         <scri
        <!--
        <scri
    </body>
</html>
```



top.html

html

```
1  {% extends '. /
2  {% block conte
3  <!-- Content W
4  <div class="co
5      <!-- Conte
6      <section c
7          <h1>ダ
8          <ol cl
9              <l
10             <l
11         </ol>
12     </section>
```

13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51

```
<!-- Main
<section c
  <!-- S
    <div c
      <d

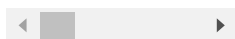
</
<!--
<d

</
</div>
<!-- /
<!-- M
<div c
  <!--
    <s
```

```

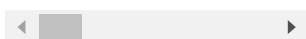
52
53         </
54         <!--
55         <!--
56         <!--
57     </div>
58     <!-- /
59 </section>
60     <!-- /. con
61 </div>
62 <!-- /. content
63 {% endblock co

```



初めてやる場合は少し戸惑ったり時間がかかりますが、**基本的にはAdminLTEのテンプレートそのまゝを活用**しているため、細かなHTMLコードを理解していなくても以下のようなやり方をすれば**感覚的にカスタマイズ**できます。

- ・ 不要そうな部分を削
- ・ 動作がおかしくな
- ・ 修正対象となる箇所
- ・ 既存のhtmlタグ構
- ・ 表示される画像デ



以上で今回のパートは終了です。
おつかれさまでした。

